

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314



芦常分教会

昭和10年11月4日 設立

立教184年
12月号

大教会長杯親睦 大スポーツ大会 開催

11月28日 茂平グラウンドで

2年ぶりに開催(第13回)

今年、新しい大教会長様になっての最初の大会になりました。

昨年は、コロナ禍において中止となったこのブロックを越えた親睦を深めるためのスポーツ大会も、今年、全国の新規感染者数が激減している中であっても、会場に入る前の手の消毒やソフトボールに使う道具類等の消毒、ベンチの中でのマスクを徹底して



和気あいあいとした試合

開催しました。

部内のような行事が重なった日程であったにも関わらず、選手登録された人数が45人で、観戦者を合わせて、当日60人程の人がグラウンドに集合しました。

福山チームと合同チームの2チームに分かれて1試合6回を戦い、1戦目ながら事実上の決勝戦は、優勝を争う点の取り合うゲームとなりました。

最終的に、福山チームが21対15で勝利し、優勝を飾り、惜しくも準優勝になった合同チームも、和気あいあいと時間を過ごしました。

閉会式では、大教会長様から賞状・



閉会式での様子

トロフィー・賞品などを受け取り、昼食のジュースとパンを受け取った全員は、来年の参加を誓い合って解散しました。

昨年は出来なかったこの親睦大会が、今年開催することができました。参加者は勿論の事、開催にあたり、準備と片づけを進んで努めてくださった皆様のお陰で開催出来た事を心から感謝いたします。有難うございました。

(親睦スポーツ大会開催担当者

上原 志郎)



親睦を深めた参加者達

大教会だより

II 辞令 II

立教184年11月21日付

◎職制人事

詰所掛主任

上原理一

かさおか編集掛主任

山野弘実

◎第九六三期修養科一期講師

自 立教184年9月1日

至 立教184年11月27日

門司港 猪原啓介

◎教会長資格検定講習会修了者

立教184年12月17日終講

笠岡 岡本善一

※お詫び

本年11月21日発行の『かさおか第60巻第11号』4ページ「記念祭・奉告祭」の記事の末尾に、「※かさおか編集掛は本巻第12号で特集を組む予定」としておりましたが、編集の都合で「特集号」として別途の発刊とさせていただきます。なお、仕上がり次第の発刊となり、発刊期日は未定です。

十一月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます
親神天理王命の御前に 会長上原明勇 慎んで申し上げます

親神様には 子供かわいい一条の親心から 昼夜を分かたず変わることなく
ご守護下さり 時旬に応じた仕込みをもって お育て下さいます 御慈愛の程は
誠に有難く 勿体ない極みでございます 私共は 届かぬながらも お望み下さる
陽気ぐらし 世界の実現を目指して 日々勇んで たすけ一条の上に 努め励ませ
ていただいております

その中にも 今日の吉日は たすけの元立てとお教え頂く おつとめを勤める
日柄でございますので ただ今からおつとめ奉仕人一同 明るく陽気に勇んで
座りづとめ てをどりをつとめて 十一月の月次祭を執り行わせていただきま
す 御前には 寒さを厭わず 今日の日を 楽しみみに 寄り集いました 道の子供た
ちが 相共にお歌を唱和し 日頃のご高恩に 改めて 御礼申し上げます 尚も変わら
ぬ親心にお継りする 皆の真実の状を ご覧下さいまして 親神様にも お勇み下
さいます ようお願い申し上げます

さて 現在 世界を覆っている 新型コロナウイルスによる 脅威は 日本におい
ては 感染者の減少に伴い 徐々に 行動制限の緩和が されつつあり 少し和らい
でいるように 感じられます しかし 世界では 日に 数十万人という 新規感染
者が出て いる状況は まだまだ 安心できるものではありません 日本の状況
が 落ち着きある 今だからこそ 世界に 目を向け 今この時も コロナ禍にあつて
悩み苦しんでいる 兄弟達が いることを 忘れず 自分に 何が できるのか とい
うことを しっかりと 思索し 教えに基づく 心の 入れ替えと 人だすけの 実践を
させて いただく 所存でございます

何卒 親神様には どんな中にあつても 親孝心一筋に たすけ一条に 励む 皆の
誠真実の心をお受取り 下さいます して コロナ禍が 終息し 神人和楽の 陽気ぐら
しの 世の 状が 一日も 早く 実現 します よう お導きの 程を 一同と 共に 慎んで
お願い 申し上げます

立教百八十四年 十一月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	役割		区分	講話	祭主									
									おつとめ	てをどり			座り勤	担当者								
門脇加津	今川佐智子	上原順子	杉原博之	中村剛	谷内伸自	吉岡壽	佐藤道孝	今川昌彦	前奥様	大教会奥様	上原繁道	前会長様	大教会長様	内海史郎	山野弘実	門脇元教	吉岡誠一郎	吉岡誠一郎	中島誠治	大教会長様		
田中つかさ	中村初美	三島照美	岡崎真一	高木昭祥	杉原善朗	中島誠治	中村道徳	浅野明教	岡崎和子	内海安子	虫明生	上原浩	田中隆之	三代温生	武内清明	吉岡誠一郎	吉岡誠一郎	春季大祭講話	大教会長様	指図方	門脇元教	高木昭祥
吉岡八恵	室悦子	横山小智榮	佐藤真孝	渡邊隆夫	内海史郎	山田敏教	赤木素志	上原繁次	山内美知子	武内正美	横山逸郎	三島涉	上原志郎	杉原善朗	岡田誠	岡崎真一	岡崎真一	大教会長様	大教会長様	上原繁次	門脇元教	高木昭祥

笠岡大教会 年間行事 予定表

部会 月	婦 人 会	青 年 会	少 年 会	学 生 会 学生担当委員会
1	28 婦人会創立の日		27 年頭幹部会	
2	3 直轄委員長・委員研修会			5~7 天理高校 受験世話取り 21 学生層育成者講習会
3			21 テッチャンシアター (親子参拝 推進行事) 31 笠岡むつみ鼓笛 合同練習会	2~6 学生生徒修養会大学の部 8~12 学生生徒修養会大学の部 28 春の学生おちばがえり
4	19 本部 婦人会総会 10時半 中庭		1 笠岡団 総会	
5	22 笠岡支部婦人会総会	父親講座	21 育成講習会 テッチャンシアター (親子参拝 推進行事)	8 親里管内学校 新入生歓迎会
6	5 こかん様に続く会	おやさとふしん 青年会ひのきしん隊入隊		
7				
8			21 テッチャンシアター (親子参拝 推進行事) 21~23 サマーキャンプ	※ 学生生徒修養会高校の部の開催期日は未定
9	23 委員長後継者講習会(第2希望)	布教キャラバン隊		
10	23 委員長後継者講習会(第1希望)	27 本部青年会総会		
11	27 本部 女子青年大会 10時 おやさと			6 笠岡 学生会の日
12				
備 考	・毎月2日 ひまわり会 例会 1月・8月はなし ・毎月3日 婦人会 例会 1月はなし ・毎月20日 女子青年 伏せ込みひのきしん	◎有志ひのきしん隊 (毎月) ◎ZOOM勉強会 (毎月)	◎教会おとまり会の実施	

立教 1 8 5 年(令和 4 年/2022年)

部会 月	全体行事 その他	ひのきしん	布 教 部	海 外 部
1	5~18 直轄教会春季大祭参拝 20 年頭会議	5~15 本部食堂(島根ブロック)		
2	2~15 部内巡教			
3	2~15 部内巡教 28・29 修養科修了講習会		21 勉強会(第1回) 於:大教会	広島平和公園にをいがけ (英文パンフレット配布)
4		教祖ご誕生祭詰所受入	29 全教一斉ひのきしんデー	
5	5 大教会長杯親睦スポーツ大会 5~18 直轄教会定期巡教 31 雅楽講習会	1~15 本部食堂(上府ブロック) 草刈り、剪定		
6	28・29 修養科修了講習会		21 勉強会(第2回) 於:大教会	
7				
8			1~31 笠岡おぢばがえり強調月間 21 笠岡 布教推進講習会	
9	28・29 修養科修了講習会	草刈り、剪定	1~30 布教推進強調月間 21 勉強会(第3回) 於:大教会 23 笠岡にをいがけ推進日 28~30 全教一斉にをいがけデー	アフリカ支援バザー秋祭り
10	5~18 直轄教会秋季大祭参拝 31 雅楽講習会	秋季大祭詰所受入		
11				広島平和公園にをいがけ (英文パンフレット配布) 21 海外伝道講習会 (月次祭に合わせて)
12	20 心定め提出 28 修養科修了講習会	22 年末大掃除 27 詰所餅搗		
備 考	◎部長会議 毎月20日 午前10:00 ◎役員会議 毎月20日 午後 1:00 ◎役員並びに直轄教会長会議 毎月20日 午後 2:00 ●雅楽会練習 毎月21日 午前8時~	註:ブロックの区分けは 東:岡山県以东の直轄教会 とその部内教会 西:広島県以西の直轄教会 とその部内教会 上府:上下、府中市		◎英語クラブ (毎月22日19時半~)



おたすけのための ひのきしんスクール

年間
予定 立教 185 年

1 月	27日より配信 (木)	 高齢者支援 ※オンライン開催
2 月	26日より配信 (土)	 家族への支援 ※オンライン開催
3 月	25日 (金)	 シンポジウム
4 月	27日 (水)	 図書修理
5 月	26日～27日 (木) (金)	 緑化ひのきしん
6 月	26日～27日 (日) (月)	 精神の疾患と障害
8 月	26日～27日 (金) (土)	 カウンセリング
9 月	25日より配信 (日)	 シンポジウム ※オンライン開催
11 月	26日～27日 (土)～(日)	 障害への理解と支援

<オンライン開催の受講には、インターネット環境が必要です>

お申し込み・お問い合わせ

ひのきしんスクール事務局

〒632-8501 天理市三島町1-1

TEL 0743-63-2314 FAX 0743-63-7266

E-mail h-sc@tenrikyo.jp

ホームページ <https://fukyo.tenrikyo.or.jp/h-sc/>

※詳細については開催2カ月前に直属、教区、ホームページなどを通して発表します。

※シンポジウムは、開催3カ月前に発表します。

※開催日時、形式について、新型コロナウイルスの感染状況、社会状況に応じて変更する場合があります。

QRコード

